

女子硬式野球部 遠藤佳菜子捕手と渡辺那奈外野手

侍ジャパン女子日本代表入り

「第1回BFA女子野球アジアカップ」初代女王に輝く

平成29年9月2～7日、香港で開催された「第1回BFA女子野球アジアカップ」の日本代表メンバーに、女子硬式野球部の遠藤佳菜子捕手（総進2年）、渡辺那奈外野手（総進2年）が共に初選出された。また、同部の田代恭規監督もコーチとして入閣した。

さいたま市出身の遠藤佳菜子選手は中学時代、市内の強豪女子硬式野球チームで活躍。埼玉県内にも強豪校が多くある中、「練習の雰囲気良かった」と本学院に進学を決めた。初の代表選出に「トップレベルの選手が集まる大会。多くのことを学び、吸収したい」と、意気込みを見せていた。

渡辺那奈選手は上三川町出身で、強肩と俊足を買われて初の代表入り。小学生の時に田代監督と出会った縁で本学院に進学、チームではセンターを任されている。

「まだ足りない部分が多い。大会で成長できるように精いっぱいプレーする」と、遠藤選手に負けず意欲的であった。

同部就任5季目となる田代恭規監督は、今春、全国高校女子硬式野球選抜大会で初の4強入りに導くなど、コーチングとしての手腕にも定評がある。大会前の取材では「仲間や後輩の目標になるよう世界を肌で感じ取ってほしい」と、教え子2人の代表チームでの活躍にも期待を寄せいていた。

大会は、全6チームによる総当たり戦が行われた。日本代表は、若手選手の育成や女子野球の競技力向上のため、初めて18歳以下の選手でチームを編成。宿敵である台湾には逆転勝利、3試合でコールド勝ちを果すなど圧倒的強さを見せ、初代アジア王者に輝いた。遠藤・渡辺両選手とも4試合に先発出場し、遠藤選手はトータル10打数5安打5打点、渡辺選手は10打数7安打3打点の活躍を見せ、マドンナジャパンの中心選手として優勝に大きく貢献した。



【左から 遠藤佳菜子選手、渡辺那奈選手、田代恭規監督】

「第1回BFA女子野球アジアカップ」大会スケジュール

- 9月2日(土)16:00 韓国 0 - 11 日本
- 9月3日(日)13:00 日本 6 - 1 チャイニーズ・タイペイ
- 9月4日(月)17:30 パキスタン 0 - 17 日本
- 9月5日(火)13:00 日本 2 - 0 香港
- 9月6日(水)10:00 日本 17 - 0 インド

出場国 日本、チャイニーズ・タイペイ、韓国、香港、インド、パキスタン